

9 月 17 日 CVV 定例会議事要旨(案)

日時：2024 年 9 月 17 日(火) 午後 5 時 30 分から

場所：(一社) 近畿建設協会会議室

参加者（順不同・敬称略）：28 名（会員・会友）

古田・川谷・石原・今岡・祝・宇野・大井・串田・栗田・齋木・先本・清水・下土居・鈴木巖・鈴木威・高田・武・田中・友廣・夏秋・野坂・南荘・原・坂東・古川・吉岡・荒武・黒山

オブザーバー参加：小柳 勇也氏、小瀬川 奉久氏、菅 章悟氏（地盤工学会関西支部）

<定例会資料>

- ① 7 月 17 日定例会議事要旨（黒山）
- ② 阪神高速未来へのチャレンジプロジェクト助成申請書（様式 1, 2）（高田）
- ③ インフラパートナー制度に関するアンケート依頼状および回答フォーム（黒山）
- ④ 2024 年度いきいき活動大江小、大池小活動報告および大池小の「いきいきだより」（鈴木巖）
- ⑤ CVV の技術継承活動に関する参考資料（夏秋）
- ⑥ 市民向け広報・見学会企画グループ第 2 回打合せ議事要旨（南荘）
- ⑦ 震災 30 年特別見学会（南荘）
- ⑧ 地盤工学会関西支部第 15 回若手セミナー会告（地盤工学会関西支部）

<主な議事>

代表あいさつに引き続き黒山が資料確認した。また、川谷幹事長が前回定例会の議事要旨（資料①）を確認した。その後の議事は以下のとおり。

1. 阪神高速未来へのチャレンジプロジェクトの申請について（川谷・高田）
表記について助成申請書の内容と今後のスケジュールを説明した（資料②）。
2. 「インフラパートナー制度に関するアンケート」について（黒山）
CNCP 事務局から依頼のあった「インフラパートナー制度に関するアンケート」の内容と CVV からの回答を資料③に基づいて説明した。また、川谷幹事長が学会本部の状況を補足説明した。
3. 2024 年度いきいき活動大江小、大池小活動報告について（鈴木巖）
今年度予定の 3 校の内、すでに実施済みの大江小、大池小での活動内容を資料④に基づいて報告した。
 - ・ 父兄の参加があったようだが、いかがであったか。「土木」の広報になったのではないか。（川谷）
→大江小で初めて 6 組の父兄参加があった。特に問題はなく、協力的であった。（鈴木巖）
4. CVV の技術継承活動について（夏秋）
CVV 会員全員ではないがメンバーの技術経験や執筆した論文・報告に関する資料を提出いただいた。それをもとに土木学会仕様で分野別に整理したものが資料⑤である。この資料を基に自治体やメンバーの元所属組織などにメンバーの経験談を伝えるなどの技術継承の取り組みを進めたいと考えている。なお、この資料はメンバーの技術経歴をまとめたもので講演可能内容を示したものではない。
 - ・ 資料を再度チェックするので修正をお願いしたい。（栗田）
→了解した。（夏秋）
 - ・ 整備局「橋梁スペシャリスト」の担当者に CVV の協力（講演・見学案内、意見交換等）を持

ちかけたところ実施したいとの意向であった。(先本・荒武)

→調整してもらいたい。(川谷)

- ・ 原会員から、同種の資料がまとまれば出身母体に説明に行くことが可能と聞いているがこの資料ではいかがか。また、「CVV の男たち・女たち」も活用いただきたい。(川谷)

→その意向は持っている。本社に行く機会があればこの資料を基に先方の意向や要望を聞いてみたい。近畿管内の事務所にも説明し、意向を確認する予定。(原)

- ・ CVV は現時点での最先端技術は説明できない。様々な技術経歴を持つメンバーがいることをアピールできればよい。(南荘)

5. 市民向け広報・見学会企画グループの活動報告 (南荘)

資料⑥に基づいてグループ内での協議内容を説明した。今年度は将来の市民見学への試行として、「震災 30 年特別見学会」を計画している。なお、来年度は湾岸部の橋梁見学会を予定している。資料⑦で今年度の震災関連見学会の企画内容を説明した。

土木学会関西支部、自治体、阪高などの施設管理者に協力を依頼（後援等）する。参加費は 500 円程度を予定。

- ・ 資料によると説明者を外部に依頼することになっているが。(川谷)

→勉強して CVV メンバーが解説できるようにする予定。(南荘・石原)

- ・ 過去いきいき活動で訪問した学校に広報してはいかがか。(古川)
- ・ 地盤工学会関西支部に協力（後援等）を依頼しては。(祝)

6. 地盤工学会関西支部第 15 回若手セミナーについて (小柳氏)

地盤工学会関西支部第 15 回若手セミナーの概要と CVV 側の協力者等を資料⑧をもとに説明した。

7. その他

- ・ 震災 30 年関連で CVV メンバーが大学、高専に出向き、経験を学生に伝えるという企画を提案したが、今後具体的な調整（内容、日時等）を実施する。(川谷)

- ・ 新規会員が増えたことから CVV ホームページの概要を説明した。修正要望をお願いしたい。(黒山)

- ・ 定例会の進行方法は、テーマに基づいた発表を先にして、その後定例的な報告とすることを提案する。(南荘)

- ・ いつも 5 時半スタートだが開始時刻を早めてはいかがか。(原)

→会場を借用していることから困難。(川谷)

- ・ 今年度の土木遺産調査を 10 月 30 日（水）か 12 月 18 日（水）に大阪市内西部（安治川周辺）で開催する予定。参加募集はメールで実施する。(栗田)

- ・ 次回は 11 月 13 日（水）に開催する。その後都合により 11 月 15 日に変更。

文責：黒山